

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月23日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 両毛システムズ
 コード番号 9691 URL <http://www.ryomo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋山 力
 (氏名) 上山 和則

TEL 0277-53-3131

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,726	4.5	123	—	137	—	39	—
24年3月期第2四半期	4,524	△2.7	△92	—	△78	—	△27	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 22百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.30	—
24年3月期第2四半期	△7.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,477	5,965	62.4
24年3月期	9,756	5,943	60.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,917百万円 24年3月期 5,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	5.5	80	—	90	—	50	—	14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	3,510,000 株	24年3月期	3,510,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	11,035 株	24年3月期	11,035 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	3,498,965 株	24年3月期2Q	3,498,965 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつありますが、欧州の政府債務危機や中国の景気減速等、対外経済環境の不確実性の高まりを背景とした海外景気の下振れ懸念により、企業の業況判断が製造業を中心に慎重さを増している等、景気の先行きは依然として不透明な状況と見受けられます。

情報サービス産業におきましては、引続きソフトウェア投資は緩やかな増加基調で推移していますが、海外景気の減速傾向や為替相場の円高基調等により企業の設備投資に抑制傾向が強まっており、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社および連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野および民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

自治体向け超次世代電子行政システム（商品名 G.Be_U（ジービーユー））が前期末に稼動したのを始めとして当第2四半期には2自治体に納入するなど、収益の拡大に貢献いたしました。また、印刷業向けパッケージシステム「PrintFact」をはじめとするパッケージシステムの販売が堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,726百万円（前年同期は4,524百万円）、営業利益は123百万円（前年同期は△92百万円）、経常利益は137百万円（前年同期は△78百万円）、四半期純利益は39百万円（前年同期は△27百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（公共事業セグメント）

公共事業セグメントでは、当第2四半期にG.Be_Uを2自治体に納入し収益拡大に貢献いたしました。しかしながら、受託計算サービスの減少などにより、売上高は2,173百万円（前年同期は1,810百万円）、セグメント利益は25百万円（前年同期は33百万円）となりました。

（社会・産業事業セグメント）

社会・産業事業セグメントでは、仕入機器販売が前年同期に比べ減少したことにより売上高は減少いたしました。小中学校向けコンピュータ教育システムの新規受注獲得、印刷業向けパッケージシステム「PrintFact」、ガス事業者向けパッケージシステム「GIOS」など、自社パッケージシステムの販売が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,553百万円（前年同期は2,713百万円）、セグメント利益は434百万円（前年同期は283百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態に関する分析

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円の減少となりました。これは主に、売掛金の回収等により得た資金を買掛金等の支払に充てた事等によるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円の減少となりました。これは主に、新規投資が僅少であったことにより減価償却費が投資額を上回ったこと等によるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が減少した事等によるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円の減少となりました。これは主に、1年内に返済予定の長期借入金を流動負債に振替えた事等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は5,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益が39百万円となったことにより利益剰余金が増加した事等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し1,067百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少及びたな卸資産の増加等の減少要因がありましたが、売上債権の回収及び税金等調整前四半期純利益が137百万円となった事等の増加要因により106百万円（前年同期比△242百万円）の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、開発投資による無形固定資産の取得等がありましたが、満期保有目的債券の償還等により2百万円（前年同期比△344百万円）の支出に留まりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により75百万円の支出（前年同期は674百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの平成25年3月期の連結業績予想につきましては、当社連結子会社であります（株）両毛データセンターと非連結子会社であります（株）サンフィールド・インターネットが、10月1日付で合併したことにより連結の範囲に変更がありますが、業績への影響は軽微に留まること、また、企業の設備投資に抑制傾向が強まっているなど景気の先行きに不透明感が増していることにより、平成24年4月24日に開示した業績予想について現時点で修正はありません。

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	796,685	534,590
受取手形及び売掛金	2,000,424	1,585,304
有価証券	200,139	—
たな卸資産	784,096	1,070,902
その他	2,152,937	2,486,097
貸倒引当金	△702	△400
流動資産合計	5,933,579	5,676,494
固定資産		
有形固定資産	952,392	969,539
無形固定資産		
ソフトウェア	1,006,710	890,209
ソフトウェア仮勘定	4,882	62,875
その他	218,264	219,918
無形固定資産合計	1,229,857	1,173,002
投資その他の資産	1,640,673	1,658,665
固定資産合計	3,822,922	3,801,208
資産合計	9,756,502	9,477,702
負債の部		
流動負債		
買掛金	669,929	371,491
未払法人税等	13,331	96,622
賞与引当金	298,709	304,317
受注損失引当金	315,518	291,025
その他	1,042,500	1,084,074
流動負債合計	2,339,989	2,147,531
固定負債		
長期借入金	813,800	673,000
その他	659,435	691,591
固定負債合計	1,473,235	1,364,591
負債合計	3,813,225	3,512,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,500,721	1,540,264
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	5,912,758	5,952,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,571	△34,902
その他の包括利益累計額合計	△14,571	△34,902
少数株主持分	45,090	48,180
純資産合計	5,943,277	5,965,579
負債純資産合計	9,756,502	9,477,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,524,661	4,726,600
売上原価	3,770,045	3,915,330
売上総利益	754,615	811,269
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	413,268	332,695
賞与引当金繰入額	46,972	50,407
その他	386,937	304,599
販売費及び一般管理費合計	847,178	687,702
営業利益又は営業損失(△)	△92,563	123,567
営業外収益		
受取利息	5,742	2,876
受取配当金	5,968	5,030
受取賃貸料	6,030	4,722
転リース差益	5,458	7,429
その他	11,335	5,801
営業外収益合計	34,535	25,860
営業外費用		
支払利息	1,042	5,907
賃貸収入原価	2,465	1,376
その他	16,468	4,204
営業外費用合計	19,975	11,488
経常利益又は経常損失(△)	△78,003	137,939
特別利益		
固定資産売却益	56	109
投資有価証券売却益	—	714
特別利益合計	56	823
特別損失		
固定資産売却損	167	28
固定資産除却損	1,391	35
投資有価証券評価損	—	1,296
特別損失合計	1,558	1,360
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△79,505	137,401
法人税等	△52,397	94,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△27,108	42,632
少数株主利益	276	3,089
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,384	39,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△27,108	42,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,280	△20,330
その他の包括利益合計	△10,280	△20,330
四半期包括利益	△37,388	22,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,665	19,212
少数株主に係る四半期包括利益	276	3,089

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△79,505	137,401
減価償却費	76,656	78,522
無形固定資産償却費	318,248	156,870
前払年金費用の増減額(△は増加)	38,207	26,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,411	5,607
受注損失引当金の増減額(△は減少)	9,933	△24,493
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△346	△302
受取利息及び受取配当金	△11,710	△7,906
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△714
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,296
支払利息	1,042	5,907
為替差損益(△は益)	28	107
固定資産売却損益(△は益)	110	△80
固定資産除却損	1,391	35
売上債権の増減額(△は増加)	327,236	412,978
たな卸資産の増減額(△は増加)	△315,886	△286,806
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53,267	△44,087
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,419	△295,503
未払費用の増減額(△は減少)	△2,448	△13,439
その他の流動負債の増減額(△は減少)	69,074	△54,900
その他の固定負債の増減額(△は減少)	19,099	13,545
小計	336,567	110,644
利息及び配当金の受取額	12,942	9,100
利息の支払額	△2,702	△5,772
法人税等の支払額	2,207	△7,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,015	106,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	172,000	170,000
有価証券の売却による収入	256,000	200,000
投資有価証券の取得による支出	△4,582	△64,118
投資有価証券の売却による収入	—	833
投資その他の資産の増減額(△は増加)	10,340	878
有形固定資産の取得による支出	△35,034	△49,128
無形固定資産の取得による支出	△575,714	△91,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346,991	△2,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△280,000	—
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△45,400
リース債務の返済による支出	△1,864	△29,989
配当金の支払額	△41,987	—
少数株主への配当金の支払額	△1,248	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	674,899	△75,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	676,922	28,533
現金及び現金同等物の期首残高	482,714	1,038,715
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	70,103	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,229,741	1,067,248

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,810,695	2,713,965	4,524,661	—	4,524,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,810,695	2,713,965	4,524,661	—	4,524,661
セグメント利益	33,626	283,027	316,653	△409,216	△92,563

(注) 1 セグメント利益の調整額△409,216千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△130,116千円及び全社費用△279,100千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,173,450	2,553,150	4,726,600	—	4,726,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,173,450	2,553,150	4,726,600	—	4,726,600
セグメント利益	25,645	434,439	460,084	△336,517	123,567

(注) 1 セグメント利益の調整額△336,517千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△87,896千円及び全社費用△248,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、報告セグメントの区分を従来の「公共事業」、
「民間事業」から「公共事業」、「社会・産業事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。